

第 48 回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会における感染予防対策

日本バトン協会関東支部

会場：大田区総合体育館

1. 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針

- (1) 第 48 回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会開催にあたり、日本政府発表の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、スポーツ庁、各自治体、専門家の発表を参考に予防対策として下記の内容を実施することとする。選手をはじめ関係者全ての安全・安心を最優先に対策を講じ例年の開催方法に拘らないものとする。
- (2) 各団体の活動においては、感染状況を踏まえ日本政府や各自治体、学校等の方針を遵守し可能な限りの感染予防対策のうえ安全に活動すること。
- (3) 参加については、各団体の責任において判断し大会当日は「第 48 回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会における感染予防対策」に従い責任を持った行動をすること。

2. 感染予防対策の対応について

- (1) 選手・係員・役員・出店業者、関係者全ての安全・安心を優先した取り組みを行う。
 - a. 会場での滞在時間について長時間を避ける為、選手は出来るだけ演技 2 時間程度前に入館し、演技終了後出来るだけ速やかに退館とする。（2 種目出場者は、選手席にて待機可能とする）
 - b. 係員は未成年者へは依頼しない。開催方法を検討し最小限数に収め交代制にするなど長時間にならないように工夫する。遠距離の係員には依頼をしない。
 - c. 実行委員(役員)は、主催者側として対応出来るよう安全対策を共有する。
特に管理場所によっては、執行部が対応とする。
例：受付時に問題が生じた場合に入館拒否を伝達できる者
 - d. 出店の際は、密にならないように購入時に人数制限を行うなどの対応を取る。
 - e. 宿泊について
遠距離の係員を依頼しないことから宿泊は許可した者のみとする。
- (2) 感染予防対策に必要な用度は、数を揃えて適切な場所に設置し安全に努める。

a. 消毒液各 1 / 受付 1 階 2 階・サブアリーナ入り口・体育室・各部控え室	計 12
b. 消毒液 / 1 階 2 階ロビー・選手席はブロック分けにし数カ所に設置	計 20
c. マスク / 予備として受付に用意しておく。	計 1000
d. ハンドソープ / 男女トイレ	計 18
e. 検温用機器 4 ・体温計 4	計 8

※各部の部屋割り

本部・演出部・会場部・集計部・広報部・審査員・事務局・事務局・撮影者

※使用するトイレ

1 階 4 箇所

2 階 4 箇所

(3) 式典について

- a. 開閉会式は実行委員長、又は副実行委員長の挨拶のみとし、整列は無しとする。
- b. 表彰式は無しとし、大会終了後に HP にて発表する。
賞状・副賞は後日発送する。

(4) 準決勝・決勝の発表について

- a. 準決勝進出者の発表は、都度 HP、Instagram にてお知らせする。

b. 決勝進出者の発表は、都度 HP、Instagram アップとアナウンスによりお知らせする。

(5) 選手・引率者の導線について

a. 他の選手との接触を避ける為の検討を行う。

セット番号順に各導線を時間設定する。

更衣場所に、体育室を使用する。

2 階受付～選手席～更衣～ウォーミングアップ(サブアリーナ)～本番～更衣～退館

(6) 一般観客について

コロナ感染者状況を考慮し、有観客とする。

3. 主催者（支部）の感染予防対策【役員・係員】

(1) 当日までの感染予防対策

①政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触を行わないこと。

②マスクの着用やこまめな手洗いまたは手指消毒などの感染予防対策を行うこと。

③以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

・体調がよくない場合（例：発熱（おおむね 37 度 5 分以上）・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

・同居家族や身近な知人に感染が疑われた方がいる場合。

・過去 10 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

(2) 当日の感染予防対策業務

① 会場使用について

a. アリーナ・サブアリーナ・各部控え室、受付場所は密閉空間にならないように換気を行う。

・アリーナ… 1 階の扉を開放

・サブアリーナ… 入り口扉を開放

・各部控え室… 扉を開放、又は他の空間のある場所へ設置

・1 階受付… 役員・係員の入館の際、検温、消毒、マスクの確認を行う。

入館の際は間隔を空けるよう誘導する。

・体育室… 使用後毎に換気と消毒を行う。

・2 階受付… 選手・引率者の入館時、検温・消毒・マスクの確認をしてから入館させる。

検温の際、37 度 5 分程度の熱があった場合は入館をさせない。

引率者には「感染予防チェックシート」を提出してもらう。

② 手洗い、消毒、マスク着用について

・役員・係員・選手・引率者・会場の全ての人に呼びかける。設置場所についてのアナウンスを入れる。

・役員・係員はマスク着用を必須とし、場所によりフェイスシールドを付ける。

③ 飲食について

・飲食は指定場所で行い間隔をとり、対面を避ける。

・ゴミは各自で持ち帰る。

④ トイレの使用について

・使用後は蓋をして水を流す。

・ハンドソープを使用して手洗いをする。

・1 時間毎に消毒を行う。

※人の密集している空間にならないように人と人との間隔を確保する。(2m を目安)

※近距離での会話や発声が行われないように、人と人との間隔を確保する。(2m を目安)

- ※入場者の制限や誘導を行い、手指の消毒設備の設置を行う。
- ※主催者として、感染予防対策が厳守されているか確認を行う。
- ※文具及び用度品の共用は行わない。
- ※業務や私語の際に大声で発声しない。
- ※選手のバトン等、直接触れることのないよう配慮し対策する。
- ※終了後に感染したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応について、開催自治体の衛生部局等の報告先をあらかじめ確認を行う。

(3) 終了後の感染予防対策

- ①事業終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大田区総合体育館に報告するとともに施設からの指示を仰ぐ。

4. 参加者（団体）の感染予防対策【選手・引率者】

(1) 当日までの感染予防対策

- ①政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者の濃厚接触を行わないこと。
- ②マスクの着用やこまめな手洗いまたは手指消毒などの感染予防対策を行うこと。
- ③以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱（おおむね37度5分以上）・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われた方がいる場合。
 - ・過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

(2) 当日の感染予防対策

- ①過去14日以内及び当日の体調について「感染予防チェックシート」を提出し、感染の可能性が
る場合は自主的に参加を見合わせること。（※感染予防チェックシート参照）
- ②2階受付…団体チェックイン（団体引率責任者1名）
 - ・「感染予防チェックシート」を提出し主催者側が確認をする。
問題がなければ、検温、消毒をして入館する。問題が生じた場合は執行部が対応する。
- ③選手・引率者の導線について
 - ・入館～選手席～更衣～ウォーミングアップ(サブアリーナ)～本番～更衣～退館
 - ・選手・引率者の導線は片側通行を守り、会話はしないこと。
- ④更衣について
 - ・更衣室は決められた人数以内の使用とする。
 - ・更衣終了後、団体引率責任者は選手が着替えた付近を消毒すること。
(主催側が用意をした消毒スプレー・ペーパータオルを使用)
 - ・着替えた服装・衣装（髪飾り）は各自ビニール袋を用意し密封して持ち帰る。
- ⑤飲食について
 - ・飲食は基本的には禁止とする。ただし、適度な水分補給、エネルギー補給は可とする。
- ⑥トイレの使用について
 - ・使用後は蓋をして水を流す。
 - ・ハンドソープを使用して手洗いをする。

- ※大声での発声や会話、応援等をしないこと。応援は拍手のみとする。
- ※入場時には必ず手洗いまたは手指消毒を行い、こまめな洗浄・消毒を行うこと。
- ※受付、更衣、その他、競技を行っていない間はマスクを着用すること。
- ※マスクをしていても会話は必要最低限とする。
- ※以下のものについては各個人で準備し共用をしないこと。

バトン・飲食物・タオル・シューズ・衣装・文具・各個人で使用するもの

(3) 終了後の感染予防対策

- ①事業終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告をすること。

※本感染予防対策は、現段階の内容であり今後の日本政府・各自治体・専門家の発表や社会状況の変化により変更することも考えられる。